

平成 31 年度 大阪市立水都国際中学校

学校関係者評価



大阪市立水都国際中学校・高等学校  
Osaka City Suito Kokusai  
Junior & Senior High School

## 1 総括についての評価

- ・開校初年度で試行錯誤を繰り返しながらの学校運営の中、本校の教育理念である 3E (Encourage, Engage, Empower) のもと、生徒が主体的に考え行動する教育活動を進めていることを評価する。
- ・すべての授業において、大部分の時間を、課題探究型の取組に充て、アクティブ・ラーニングと従来の知識伝達型手法をハイブリッドした授業展開に取り組んでいることを評価する。
- ・課外活動においても、他者との議論と協働を繰り返し、GAPS 活動での様々なプロジェクト、スポーツフェスティバル、文化祭、アカデミックフェア等に生徒が主体的に取り組み、成功させてきたことを評価する。
- ・AAPPL テスト（ウェブベースの 4 技能を測る英語外部試験）の結果について、4 月の調査に比べて、11 月の平均点に大きな向上が見られ、英語教育における成果があったことを認める。
- ・1 月に実施された大阪府チャレンジテストでは英語科において大阪市の平均点を大幅に上回っており、英語による授業を実施している理科や数学においても、大阪市内でトップクラスの成績を取めたことを評価する。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

### 年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・ 個々の生徒への対応及び家庭との連携による指導を大切に、いじめや人権課題に関わる取組の一環として「いじめを考える日」「ピンクシャツデー（いじめをなくす啓発運動）」を実施し、生徒一人ひとりの人権に対する意識向上に努めたことを評価する。
- ・ 地域との連携による防災訓練の実施を評価する。
- ・ 生徒会の設置や学校文化の創造への参画において、生徒の主体性が発揮されていることを認める。
- ・ 積極的に外部講師やゲストスピーカーを招き、国際理解教育やキャリア教育を推進し生徒の意識向上に努めたことを認める。
- ・ 社会の規範について学び、自分たちの学校のルールを考える等、水都の生徒は積極的に学校運営に関わっていることを認める。

### 年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 英語・数学・理科・国際理解教育の教科において段階的に英語を用いて授業を行うという英語力向上への取組が進められたことを認める。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の推進において、中高合同の教職員研修を行うなど、授業力向上のための取組を進め、アクティブ・ラーニングの割合を単元ごとに50%以上実施という目標を達成したことを評価する。
- ・ 授業内で英語を活用したプレゼンテーションプログラムを実施するなど生徒の外国語運用能力・表現力向上に努めたことを認める。
- ・ 管理運営法人である大阪 YMCA のリソースを生かし、海外大学からのインターン生の長期受け入れ、海外からの訪問者受け入れなどグローバルマインドを育む多様な体験機会を提供し、生徒の意識の向上を図った。

## 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・ 今後の課題として上げられた項目について、改善に向けた取組を次年度に期待する。
- ・ 今後も生徒の主体性の育みを大切に、教育活動を進めていくことを期待している。
- ・ ICT を活用した教育活動を推進しているが、個々の生徒の習熟度の差に配慮し、サポートを十分に行っていくことが肝要である。
- ・ 英語で行う授業においてサポートが必要な生徒に対する支援体制をさらに充実させてほしい。
- ・ 様々な背景を持った生徒に対し、丁寧な教育活動を進めていく必要がある。
- ・ 学校の設立趣旨、教育理念のもと、グローバル社会で活躍する青少年の育成をより一層期待する。